

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

桂枝茯苓湯(顆粒)

(けいしぶくりょうとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「金匱要略」に記載されている桂枝茯苓丸に準拠して製造されたエキス顆粒剤です。

⚠ 使用上の注意

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のたるさ、食欲不振等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合は、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴える次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ。

【効能・効果に関連する注意】

血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

【用法・用量】

下記の量を通常食前又は空腹時に白湯にて服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数	年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	1包	3回	15才未満7才以上	2/3包	3回
			7才未満	服用しないこと	

【用法・用量に関連する注意】

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)用法・用量を厳守すること。

【成分・分量】 [本品1日量3包(1包1.5g)中]

日本薬局方 ケ イ ヒ ……………	1.4g	日本薬局方 ケ イ ヒ 末……………	0.8g
日本薬局方 フ ク リ ョ ウ ……………	1.4g	日本薬局方 フ ク リ ョ ウ 末……………	0.8g
日本薬局方 ボ タ ン ビ ……………	1.4g	日本薬局方 ボ タ ン ビ 末……………	0.8g
日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク ……………	1.4g	日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク 末……………	0.8g
日本薬局方 ト ウ ニ ン ……………	1.4g	日本薬局方 ト ウ ニ ン ……………	0.8g
より製した水製乾燥エキス……………	0.5g		

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り曲げて保管し、2日以内に使用すること。
- (5)本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。



【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
電話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号